

加古川市議会議員 いなじ 誠 市政レポート

～ 笑顔あふれるまちづくり ～



【令和5年 秋号】
(No.27)

発行日：令和5年10月10日
発行：稲次 誠
住所：加古川市神野町
日岡苑 16-44
TEL：079-437-7551

●皆様とともに「笑顔」で臨みます！

猛暑だった夏も過ぎ、心地よい季節となりました。また、新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されて以降、様々な行事も動き始めました。しかしながら、物価及び原油価格の高騰など国内外の社会情勢の変化にまだまだ先行きが見えず、不安を拭うことができません。そうした状況だからこそ、市民の皆様の声をしっかり届け、まずは足下の生活を維持、確保しなければなりません。

これからも皆様とともに『安全で安心、そして笑顔があふれる魅力あるまち加古川』を目指し、全力で取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



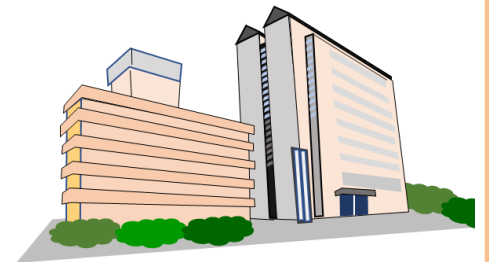
●令和5年 第4回市議会定例会が開催されました。

市議会定例会が9月に開催されました。今議会においては、令和4年度事業の執行状況及び評価を行う決算審査をはじめ、条例案件など、また、高度AIカメラ（見守りカメラ）の設置を含む令和5年度補正予算など、慎重に審議を行い、一部請願を除く全議案について、認定及び可決しました。

＜令和4年度の一般会計の決算状況＞

歳入：929億626万円 歳出：918億6,400万円 実質収支：5億2,103万円

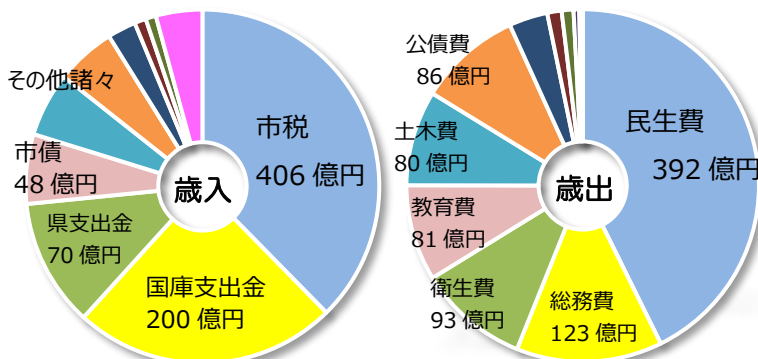
令和4年度も、前年度に引き続きコロナ禍において、国・県・市と様々な取り組みを広げ、当初予算880億円に対し、細やかに補正が行われました。また、歳入では個人市民税や固定資産税の増加等により、市税収入が過去最高の約406億円となりました。歳出（支出）では、臨時交付金や緊急経済対策等を行う一方で、神野台給食センターの整備をはじめ、かこテラスや東消防署等の大型整備事業が完了したことで、約120億円の減少となっています。



加古川市では、厳しいながらも健全な財政運営が図られています。しかしながら、物価高騰や原料費の高騰と、日常の不安が絶えません。また、社会全体として人口減少、高齢化への対応は避けられない課題です。今後も更に厳しくなると見込まれる財政状況を踏まえ、未来を担う子どもたちへの負担を可能な限り残さないことが重要です。子どもから高齢者、全ての市民の方々が安心と幸せを実感できる暮らしに向け、決算審査の結果を来年度予算につなげていかなければなりません。

私が所属する会派（かこがわ市民クラブ）としても、皆さんからいただいたご意見等を反映し、市長に対し10月に「令和6年度当初予算編成に対する重要政策提言」を提出いたします。

＜決算状況（グラフ）と近隣の財政指標＞



近隣市町と比較	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率
加古川市	0.86	91.1%	5.9%
高砂市	0.90	86.4%	9.6%
稲美町	0.73	84.5%	5.3%
播磨町	0.84	93.3%	1.0%
明石市	0.76	93.9%	4.3%

【財政力指数】 指数が高いほど財政は豊かとされ、数値が1に近づくか、1を超えるほど財源に余裕があるとされている。
 【実質公債費比率】 財源のうち公債費（借金等）負担を示す。18%、20%を超えると、それぞれ地方債の発行に制限が生じる
 【経常収支比率】 低い方が良好。100%になると、完全に財政が硬直化している。（常に必要な経費が収入で賄えていない状態）

●一般質問

◆『日岡山公園沿い道路、市道日岡刑務所線の安全対策について』

日岡山公園に面している、JR 日岡駅から給食センターへつながる道路は急なカーブに加え、歩道がなく多くの危険が潜む道路です。歩行者、自転車及び自動車が安全に通行できるよう、日岡山公園の再整備に際し、道路の線形（ルート）変更及び歩道の設置、また園内の自転車通行可能な園路の整備など改善を求め質問いたしました。

【回答】 当該道路は、危険な道路であると認識している。道路の線形を変えるためには、用地の買収やルートの決定など、様々な課題がある。安全性の向上のため当面の対策も必要であり、注意看板の設置や路面表示等について関係機関と協議していく。また、具体的なルートの見直しや実施については、日岡山公園第2期再整備事業に併せ検討を進める。

【意見】 第2期再整備事業は数年後となる。以前から危険な道路であると課題を認識されている上で、まずは現状で対応可能かつ有効な対策として、園路の整備及び園内を自転車が通行できるよう、前向きに検討していただきたい。また、道路整備に伴うルートの検討については、迅速に対応できるよう備えておくこと。

**〈日岡山公園再整備の予定〉 第1期再整備：ニュースポーツゾーン・芝生広場 等 ～令和9年度中にリニューアルオープン予定
第2期再整備：早くても令和9年度以降**



◆『“想定浸水深”の表示による防災マップの見える化について』

※想定浸水深とは：洪水・津波等による、浸水域の地面から水面までの、想定される高さ（深さ）をいいます。

皆さんはご自宅、お勤め先の場所に潜む災害リスクを、防災マップ（ハザードマップ）で確認されているでしょうか？様々な自然災害に対し事前に確認しておくことが大切です。

水害の際には、安全な地域への避難及び垂直避難等があり、有効な避難行動につなげなければなりません。しかし、防災マップで数値を見ただけでは、想定される浸水の深さがイメージしにくいいため、以前から「想定浸水深」を構造物に表示することを求めてきました。

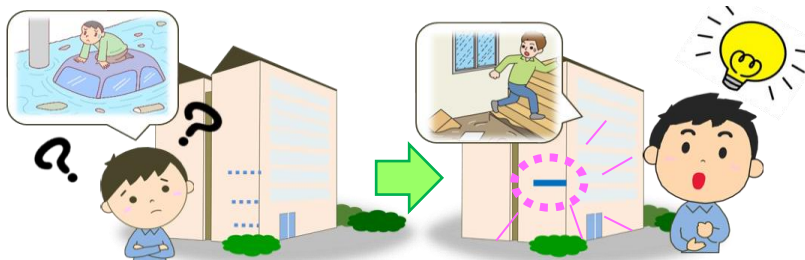
昨年度には、加古川駅南（サンライズビル前）の歩道橋に「想定浸水深表示」が設置されました。今回の質問では、市内外の方が、身近に潜む危険を理解し、命を守る行動がとれるよう、公共施設及び避難所への「想定浸水深表示」の新たな設置を求めました。



（想定浸水深表示）

【回答】 水害時の「想定浸水深」を身近に感じることは、自助や共助の意識及び、地域防災力の向上にも有効。今後、避難所となる公共施設のうち、市立公民館から「想定浸水深表示」を設置することについて協議を進める。

【意見】 「想定浸水深表示」の設置については、看板など立派なものではなく、建物へラインを描く形でも構わないので、可能な限り設置に努めていただきたい。また、加古川駅前の「想定浸水深表示」を多くの方が気付かれていないため、今後も周知、啓発に努めること。



こちらからご覧ください



（加古川市議会 録画配信）

●トピックス

★「かこがわ花火大会」今年も分散開催

日 時：令和5年10月29日(日) 20:00～20:10【10分間】

実施内容：◆打上場所を加古川市内 6カ所に分散（加古川市南部に1カ所追加）

※安全確保のため、自宅周辺等から花火を観覧してください

★「みとろフルーツパーク」レストランがオープン 〈10月6日オープン〉

みとろフルーツパークでは、来年4月のリニューアルグランドオープンに向け、キャンプ場やグランピングサイトなど施設の再整備が進められています。この度、第2次オープンでは、シンボルであったグラスハウスをリニューアルし、地元で採れた野菜や果物を使った料理が楽しめるレストランやグリーンショップなどがオープンしました。

